

大阪大学次世代 AI 人材育成事業
「新興・融合研究を推進するマルチスタック AI 人材育成プロジェクト」
令和 8 年度（2026 年度）募集要項

1. 概要

大阪大学（以下「本学」という）では、「変容する社会に呼応しながら、ヒトや AI との協働により柔軟性、頑強性、持続発展性を有する次世代 AI システムを創出できる卓抜したマルチスタック AI 人材」が、高度情報化社会から求められる博士人材と考え、「新興・融合研究を推進するマルチスタック AI 人材育成プロジェクト」（以下「本プロジェクト」という）を実施しています。本プロジェクトでは、情報科学研究科が主部局として推進し、リーダー人材プログラムとして非常に高い評価を得た「ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム（以下「HWIP」という）」で長年培われてきた、徹底した融合研究に基づく教育スキームを次世代 AI 領域に強化するとともに、核となる AI 領域だけでなく新興・融合領域を含む分野横断型の育成チームを組織します。また、優秀な学生が学業と研究に専念できるように研究奨励費と研究費を支給し、さらに次世代 AI 技術勉強会、イノベーション創発講義、インターンシップ事業、スキル評価、企業・研究機関との交流会の実施を支援します。HWIP 履修生に加え、大阪大学の極めて優秀な学生のうち、次世代 AI 研究者として我が国の産業競争力強化に貢献し国際的に活躍する素養のある者を支援の対象とします。

2. 目標

本プロジェクトにより、博士後期課程在学中の経済的な支援と、本学との共同研究講座や協働研究所等、その他のさまざまな企業などにおけるインターンシップを通じて、博士後期課程学生の進路選択や企業等における博士人材へのニーズを高め、アカデミアに限らず社会での活躍の場を広げるとともに、博士後期課程進学者の増加を図り、ひいては、本学における研究力の向上と、高度情報人材の社会への供給を通じ、社会貢献に寄与することを目的とします。

3. 活動

本プロジェクトでは、情報、認知、生命および新興分野の AI 融合研究を推進する将来のリーダー人材を育成します。これにより、実社会における様々な問題を、分野横断のアイデアや情報・AI 技術を駆使して解決する高度な能力を有した学生を輩出します。その実現のために、本プロジェクトでは以下の取組①～⑨を実施します（主に日本語で実施します）。

① AI 融合研究の推進

これまで HWIP において緊密な連携をとってきた情報科学研究科、基礎工学研究科および生命機能研究科に加え、プロジェクト生の所属研究科との協働により、情報、認知、生命および新興分野の AI 融合研究を推進する将来のリーダー人材を育成します。核となる AI 分野に加え、生命、特に脳機能や認知機能を深く理解することによって情報技術をより深化させます。HWIP における、融合分野の基礎理論・技術を教育する体制やカリキュラム編成を活用することによって AI 融合研究をグループワークとして実施します。その中で、情報技術と融合領域の理論・技術を深く理解・修得し、AI 融合分野の研究開発をリーダーとして推進する素養を有した AI 人材を育成します。

② 組織横断アドバイザーによる個別の研究支援

プロジェクト生の指導教員に加え、同じ研究科の他の教員、他研究科の教員などからアドバイザリ委員会をプロジェクト生ごとに構成し、1 年に 1 回程度の頻度で専門研究および融合研究の進捗状況を確認し、今後の研究の方向性やキャリアパスなどに関するアドバイスを提供します。また、プロジェクト生の希望に応じて自身の専門研究や融合研究の高度化を目的として、所属元の指導教員に加えてアドバイザリ委員会の教員のもとで研究活動を実施します。

③ GPI (Global Principal Investigator) スキル審査による質保証

自ら課題を設定し、グループを牽引して課題を解決できるリーダーに必要な資質を GPI スキル審査で保証します。GPI スキル検査は、能力がどのくらい向上したかを定量的に計測する検査方法です。GPI スキル審査は、支援初年度から毎年 9 月頃に実施し、プロジェクト生とその指導教員の両者が審査を行います。

④ 次世代 AI 技術勉強会による組織的な研究支援

AI 技術に関する最先端情報をプロジェクト生で密に共有し、その技術動向を組織間で連携します。さらに、ヒトだけでなく AI とも協働できる人材を育成することが肝要です。プロジェクト生だけでなく、修士学生、若手教員や URA 職員を交えた AI 技術およびその利活用に関する勉強会を週一回の頻度で開催し、分野、組織、技術の垣根を越えた交流を推進します。

⑤ データ科学に関する先進的教育プログラム

AI およびデータ科学の双方に関して深い知識を有するマルチスタック人材を育成するために、プロジェクト生の希望に応じて、本学が代表機関として参画しているデータ関連人材育成プログラム (DuEX) を通じて大学の垣根を越えた教育を提供します。DuEX は、関西地区における大学・企業・自治体の連携によりデータ関連人材育成の広域拠点を形成し、データ関連人材の輩出を起点とした産業構造の変革を実現するための先進的教育プログラムです。座学講義だけでなく、オープンデータ・企業が公開するデータを活用した問題解決型 (実践型) PBL などを提供します。

⑥ 高性能計算資源の提供

D3 センターとの連携により、D3 センターにおいて運用している高性能計算基盤およびデータ集約基盤を提供し、大規模モデルおよびビッグデータを扱う AI 研究そのものの加速を図ります。プロジェクト生から選抜された者は、学内の IoT センサ等で得られるデータをシームレスに集約・共有でき、そのまま D3 センターの GPU 計算資源を用いて AI に関わる大規模計算を高速処理できます。これらの基盤を利用するための講習会を開催するとともに、情報科学研究科で開講している関連専門科目をプロジェクト生に提供します。

⑦ インターンシップ

情報科学研究科および HWIP が連携している国際機関 (大学を含む)・企業を中心に、インターンシップの参加を支援します。インターンシップを通じて、プロジェクト生が学外での研究開発や業務の経験を積み、人的ネットワークを構築することを促進します。また、社会実装力を高める SPRING 事業との連携により、プロジェクト生のなかから選抜された者が 1 週間程度の北米研修に参加し、自身の国際性を涵養します。

⑧ 連携機関、企業との交流会

情報科学研究科および HWIP が連携している機関、企業と、学生の交流会を実施し、プロジェクト生が学外の研究者、技術者、人事関係者などに対して研究内容を分かりやすく説明する能力を向上するとともに、人的ネットワークを構築する機会を提供します。例えば、情報科学研究科が産学連携のために推進している IT 連携フォーラム OACIS のシンポジウムにおいて、研究活動を紹介するポスター発表会を実施します。

⑨ 起業家などの講演会

ベンチャー企業の起業家や融合研究分野の最先端で活躍している研究者・技術者を招いた講演会を実施し、講師のこれまでの活動の経験・ノウハウを学ぶとともに、イノベーション創発や起業のマインドを育成します。

4. 求める人材像

AI 分野および AI 分野における新興・融合領域 (バイオ、材料、社会経済、生命医療など) において、最先端研究に主体的に取り組み、本事業を通じて専門分野や組織を超えた交流に積極的に従事し、将来、次世代 AI 研究者としてイノベーション創出や我が国の産業競争力強化に貢献することに強い意欲を持つ人材を募集します。

また、本プロジェクトでは「大阪大学男女協働推進宣言」と「大阪大学ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) 推進宣言」に基づき、意欲のある女子学生の積極的な応募を歓迎します。

5. 採用予定数

20 名程度

6. 申請資格

本プロジェクトに申請できる者は、次に掲げる事項をすべて満たす者とします。

- (1) 2026 年 4 月 1 日時点で本学大学院の博士後期課程に在学 (予定) する者

※医学系研究科医学専攻、歯学研究科および薬学研究科医療薬学専攻にあつては、博士課程第 2 年次から第 4 年次の者

※生命機能研究科にあつては、博士課程第 3 年次から第 5 年次の者

(修士課程修了に相当する要件を満たしていると認められた者に限ります)

※申請時点で休学履歴がある場合、その休学期間は年次進行しないものとする。

(例) 2025 年 4 月入学者が 2025 年 4 月から 1 年間休学した場合、2026 年 4 月 1 日時点で「1 年次」とみなす。

- (2) 採用後、本プロジェクトが課す活動に必ず参加する者

- (3) 本プロジェクトが定める修了要件を満たし、修了審査を受ける者
- (4) 本学の「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム Double-Wing Academic Architecture (DWAA)」の仕組みと考え方を理解している者

※詳細は、<https://itgp.osaka-u.ac.jp/systems/dwaa/>を参照してください。

ただし、以下に該当する者は申請できません。

- ① 支給期間※1において本学の次世代挑戦的研究者育成プロジェクトに採用されている者※2
- ② 支給期間※1において独立行政法人日本学術振興会の特別研究員として採用されている者、又は令和8(2026)年4月から採用される予定の者
- ③ 支給期間※1において生活費にかかる奨学金(240万円/年以上)を得ている者※3
- ④ 支給期間※1において本学、国、企業等から240万円/年以上の給与、役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる者
- ⑤ 支給期間※1において国費外国人留学生制度(JICA 留学生制度を含む)による支援を受けている外国人留学生
- ⑥ 支給期間※1において母国からの奨学金等の支援を受けている外国人留学生
- ⑦ 在籍している博士(後期)課程に入学してから3年、生命機能研究科の博士課程は3年次から3年、医学系研究科医学専攻、歯学研究科および薬学研究科医療薬学専攻は入学してから4年を超過している者(年数はいずれも休学期間を除く)

※1 「7. 支給期間」参照。

※2 本学が実施する次世代挑戦的研究者育成プロジェクトとの重複申請は可としますが、重複受給は不可となります。本プロジェクト選抜試験に合格した場合、次世代挑戦的研究者育成プロジェクトへの申請は辞退いただくことになります。

※3 貸与型奨学金を除く。(貸与型の奨学金は生活費が用途であっても収入に含める必要はありません。)また、日本学生支援機構(JASSO)給付型奨学金受給者はJASSOへの確認が必要となります。なお、令和5年度以降にJASSO第一種奨学生として採用された学生は「特に優れた業績による返還免除」の対象から外れるのでご注意ください。

博士課程教育リーディングプログラム・卓越大学院プログラム・オナー大学院プログラム・特定分野大学院プログラム・分野連携大学院プログラム(以下「既存プログラム」という。)との関係

2026年4月1日時点で既存プログラムを履修している場合は以下の2点が適用されます。

- ・既存プログラムにおける履修負担を考慮し、本プロジェクトでの義務(「13. 採用後についての注意」参照)が軽減されます。
- ・本プロジェクト採用後、やむを得ず既存プログラムを辞退・途中離脱する場合は、本プロジェクトも辞退することとなります。

なお、既存プログラムの履修を奨励するため、本プロジェクトの選抜において既存プログラム履修者・合格者の採用枠を一定数確保します。

博士教育課程 リーディングプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・超域イノベーション博士課程プログラム ・インタラクティブ物質科学・カデットプログラム ・ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム
卓越大学院プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養 ・多様な知の協奏による先導的量子ビーム応用卓越大学院プログラム
オナー大学院プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・理工情報系オナー大学院プログラム ・人文社会科学系オナー大学院プログラム
特定分野大学院プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症学・免疫学学位プログラム ・量子情報科学学位プログラム
分野連携大学院プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンウェアイノベーション学位プログラム ・インタラクティブ物質科学・カデット学位プログラム

7. 支給期間

支給開始日 2026年4月1日※1

支給期限 支給開始時に在籍している当該課程に入学してから最大3年を超過しない期間。※2
(採用前の休学期間を除く)

ただし、

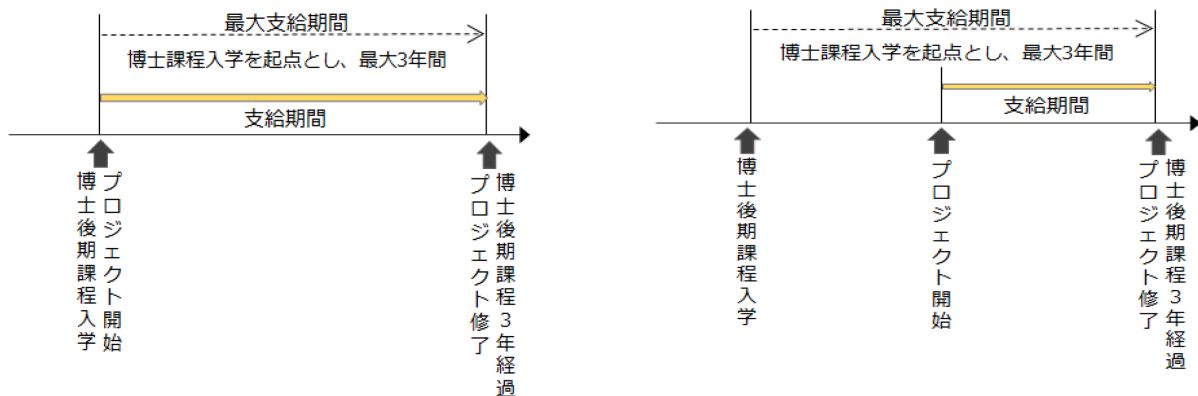
- ・生命機能研究科の博士課程は3年次から最大3年、
 - ・医学系研究科医学専攻、歯学研究科、薬学研究科医療薬学専攻は第2年次から最大4年
- を超過しない期間。

※1 支給については、毎月25日に指定口座に入金予定です。

※2 上記期間中に修了、退学、除籍となった場合、その時点までの期間とします。

例：博士後期課程（3年）の場合 «1年次»

例：博士後期課程（3年）の場合 «2年次以上»



8. 支援内容

本プロジェクトの採用者には、採用期間中、申請書・計画書に記載の研究テーマへの取組みに専念できるよう、研究奨励費（生活費相当）の支給および研究テーマに関する活動を行うための研究費が交付されます。

2026年度の支給予定額は以下のとおりです。なお、額については変更することがあります。

- (1) 研究奨励費：月額25万円※1
- (2) 研究費：年額90万円※2

※1 研究奨励費は課税所得（雑所得）と扱われ課税の対象となります。各自で税の申告・納税を行う必要があります。

※2 研究費については、大学の管理下で適切に使用していただきます。年度を跨いでの使用はできません。

9. 申請手続

「6. 申請資格」に該当する者で、本プロジェクトの申請を希望する者は、下記の要領で申請手続を行ってください。

- ・申請方法・・・郵送
- ・申請書受付期間・・・2026年1月9日（金）～同1月16日（金）17時必着
- ・申請書類・・・「10. 申請に要する書類等」にある①～⑦の書類
- ④指導教員の推薦書兼承諾書（様式4）は推薦者が直接以下の宛先へ郵送（又は学内便）で送付してください。
- ・送付方法

【郵送の方法】

宛先 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号 大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係
角形2号(縦33 cm×横24 cm程度)の封筒を使用し、必ず「簡易書留」郵便で送付してください。

10. 申請に要する書類等

本プロジェクトへの申請を行う場合は、以下の書類を提出してください。

申請に要する様式は情報科学研究科ホームページ（【各種問い合わせ先】参照）から入手（ダウンロード）してください。

	書類	内容・留意事項等
①	大阪大学次世代AI人材育成事業「新興・融合研究を推進するマルチスタック AI 人材育成プロジェクト」申請書（様式1）	
②	受験票・写真票（様式2）	3ヵ月以内に撮影した写真を貼付。
③	申請理由書（様式3）	注釈に従って記入してください（所定の様式）。
④	指導教員の推薦書兼承諾書（様式4）	申請受付期間に間に合うよう推薦者が直接送付。
⑤	研究計画書（様式5）	
⑥	受験票送付用封筒	長形3号の封筒に宛先を明記の上、110円分の切手を添付したもの。
⑦	博士課程または博士後期課程への合格通知書の写し	申請時において提出できない者（出願中の者）は、合格後速やかに提出すること。 ※2026年3月31日現在、本学博士課程・博士後期課程に在学中の者は、提出不要です。

- ・申請書類に不備のある場合は受理できません。
- ・申請には所定の様式を使用すること。変更は認められません。
- ・申請書類の提出後、その記載事項を変更し、又は補充することは認められません。
- ・受験票は、申請受理後、郵送します。1月26日（月）までに届かない場合は、問い合わせ先まで連絡ください。

11. 選抜審査について

本プロジェクトの選抜審査は、書面審査および面接審査により行います。

・審査等のプロセス

プロセス	期日	時刻等	場所等
申請受付	1月9日（金） ～ 1月16日（金）	17：00必着	大阪大学大学院情報科学研究科大学院係まで「簡易書留」郵便で送付してください。
書類審査合格発表	2月19日（木）	14：00	吹田地区の情報科学研究科A棟内1階掲示板において受験番号で発表の上、申請書記載のメールアドレスまで連絡します。
選抜試験（面接審査）	2月27日（金）	午後 別途連絡	オンライン 別途連絡
合格（採用内定者）発表	3月9日（月）（予定）※	14：00	吹田地区の情報科学研究科A棟内1階掲示板において受験番号で発表の上、申請書記載のメールアドレスまで連絡します。

・審査方針

書類審査は、申請書、研究計画書、理由書、推薦書により実施します。面接審査は、提出書類を参考にした上で、発表内容、質疑の対応を総合的に判断し、本プロジェクトの主旨によく合致する者を合格とします。

・選抜についての注意事項

- 面接審査は、書類審査合格者の中の対象者のみに対して実施します。
- 各自の面接開始予定時刻は、申請書記載のメールアドレスまで連絡します。面接開始予定時刻の10分前までにオンライン会場に接続し、待合室で待機してください。
- 面接審査は一人15分(研究発表10分、質疑応答4分、準備等1分)とします。
- 研究発表では、自分自身の研究とAI融合研究に関して、内容、成果、今後の計画等について説明してください。自分自身の研究とAI融合研究の説明時間の割合については、各自判断してください。

・合格者発表

最終合格者の発表は、2026年3月9日(月)14:00に吹田地区の情報科学研究科A棟内1階掲示板において受験番号で発表の上、申請書記載のメールアドレスまで連絡します。電話やメール等による可否の問合せおよび審査に関する個別の問合せには応じません。

12. 採用内定後の手続き

本プロジェクトの選抜審査に合格した場合は、誓約書(所定の受給要件の確認等)の提出等、プロジェクトの支給のための手続きを速やかに行う必要があります。詳細は、採用内定後に別途案内します。

13. 採用後についての注意

本プロジェクトの採用者は、次のような義務があります。

- (1) 誓約書および実績報告書の提出(※採用期間中は毎年度行います。)
- (2) AI融合研究の実施(自身の主たる研究とは別に)※1
- (3) 次世代AI技術勉強会への参加(履修初年度)
- (4) 本学が推進しているDouble-Wing Academic Architectureシステムに基づいた高度教養教育科目の単位修得※1
- (5) 国内もしくは海外インターンシップへの参加※1
- (6) 博士後期課程1年次の1月(入学時期によって変更あり)に中間審査(HWIP履修生はR-QEを兼ねる)の受審
- (7) 本プロジェクトおよび情報科学研究科が実施するイベントにおける、研究発表、ポスター発表、討論会、企業交流などへの協力
- (8) JSTから求められる大学横断的学生交流会へ参加
- (9) JSTからのモニタリング、フォローアップ調査ならびに進路調査(10年以上)への協力※2

※1 HWIPなどの既存プログラムで既に実施しているものがあれば、本プロジェクトの活動として認めます。

※2 プロジェクト生のメールアドレス等をJSTに届ける必要があります。

14. 個人情報の取扱いについて

- (1) 申請書類に含まれる氏名、住所その他の個人情報については、「大阪大学次世代挑戦的研究者育成プロジェクトとの重複申請確認」、「採用者の選抜審査」、「合格者発表」、「支給手続」「補助金に係る交付申請や実績報告」等の業務および本プロジェクトに関する業務を行うために利用します。また、所属研究科および本学が実施する教育プログラム実施担当部署、奨学金関連担当部署等学内での活動に関する必要な情報として依頼があった場合は、申請情報および合格・採用情報等の情報を提供します。
- (2) 選抜審査に用いた試験成績等の個人情報は、試験結果の集計・分析および選抜審査方法の調査・研究のために利用します。
- (3) 採用された場合は、氏名などが本プロジェクトのホームページ等で公表されます。

- (4) 上記 (1) から (3) の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部又は一部を提供します。

15. 注意事項

- (1) 障がい等のある者で、受験に際して特別な配慮を希望する場合は、原則として申請までに大学院係へ連絡してください。
- (2) 提出された書類は返却しません。
- (3) 受験票は、申請手続後、受験票送付用封筒にて郵送します。
- (4) 申請書類に虚偽が発見された場合は、採用後であっても採用を取り消すことがあります。
- (5) 不測の事態に伴い、本募集要項からの変更があれば、必要に応じて情報科学研究科ホームページに掲載するとともに、申請書記載のメールアドレスまで連絡します。

【各種問い合わせ先】

大阪大学「新興・融合研究を推進するマルチスタック AI 人材育成プロジェクト」事務局
(大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係)

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号

電話: 06-6879-4508・4509 (直通)

E-mail: boost-office@ist.osaka-u.ac.jp

「新興・融合研究を推進するマルチスタック AI 人材育成プロジェクト」ホームページ

URL: <https://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/students/lecture/boost.php>